

種名：
地域名：
季節移動型：
繁殖確認ランク：

対象個体群：
記入者名：

生息状況の信頼度	1	2	3				
地域内の分布パターン	1	2	3	4	5	6	
生息環境の消失危険	1	2	3	4	5		
生息個体数	1	2	3	4	5	6	7
個体数の増減	1	2	3	4	5		

生息状況

生息環境の消失要因

備考

凡例

対象個体群：繁殖・越冬・通過

地域名：福岡・北九州・筑豊・筑後の4地域

季節移動型：留鳥・夏鳥・冬鳥・旅鳥・その他から選択

留鳥：一年中みられるもの

夏鳥：夏季に繁殖のため飛来するもの

冬鳥：越冬のため飛来するもの

旅鳥：渡りの途中に通過するもの

その他：迷行など

生息状況の信頼度

1：低い 2：中くらい 3：高い

地域内の分布パターン

1：局所（1～2箇所） 2：点在（数カ所） 3：まばら 4：広域 5：生息しない 6：不明

生息状況の消失危険度

1：極めて大きい 2：大きい 3：あり 4：なし 5：不明

生息概数（2000年以降の生息数，可能な限り最新の状況）

1：1桁 2：2桁 3：3桁 4：4桁以上 5：生息しない 6：稀に飛来 7：不明

個体数の増減（原則として1990年頃との比較，それ以前と比較する場合は時期を明記する）

1：急減 2：減少傾向 3：増減なし 4：増加傾向 5：不明

繁殖確認ランク（2000年以降の状況について記入）

A：ヒナ，卵やその痕跡が残る巣，巣立ち直後の幼鳥，抱卵する親鳥，餌や糞を運ぶ親鳥を観察するなど，繁殖の確認ができた場合

B：繁殖行動（求愛行動・交尾・造巣・偽傷行動・繁殖期におけるなわばり行動）観察し，繁殖の可能性が高いと判断される場合

C：繁殖期に繁殖適地で確認したが，繁殖の可能性についてはわからない場合